

## 第1号（報告事項）

### 平成27年度事業報告

#### 概要

1. 我が国の経済は、中国の経済成長が減速しつつあることなどから、アベノミクス効果に陰りが見え始めているが、鶏卵・鶏肉の価格は、平成25年度後半から猛暑などの影響もあり、近年にない高相場が長期に亘り継続してきた。ただ、素ひなコストの大部分を占める配合飼料価格は、若干の値下げがあったとはいえものの、農家購入価格は高水準で推移するとともに、光熱費、燃料費や生産資材費なども依然高い水準にあり生産者の経営を圧迫している。

こうした中、種鶏孵卵業界は、2年に亘り鶏卵・鶏肉価格が上昇したとは言えるものの、飼料高等のコストアップ要因を依然として抱えていることに加え、生産費の上昇が適時適切に素ひな価格に反映されてこなかったこともあり、素ひな生産の経営環境は引き続き厳しい状況にある。

鳥インフルエンザについては、平成27年1月に岡山県と佐賀県で高病原性鳥インフルエンザの発生があったが、関係者の迅速な対応により蔓延することなく迅速な封じ込めに成功した。海外ではアジア周辺諸国で依然として発生がみられており、我が国の種鶏ふ卵業においても引き続き厳格な衛生管理の徹底と防疫対応が必要とされる状況が継続している。

一方、我が国の原種鶏・種鶏の主な輸入先である英国や米国等において高病原性鳥インフルエンザが相次いで発生し、我が国への侵入防止の観点から家きん等の輸入停止措置が頻繁に執られてきた。こうした状況の中、英国政府との間ではコンパートメント制度について継続的な協議が行われており、両国間で合意到達に向けての努力が続けられているとはいえものの、現状ではまだ、締結には至っていない。

TPP関税交渉に関しては、昨年10月5日に大筋合意し、農産物の重要5項目に含まれない鶏肉や鶏卵についても、鶏卵は13年目で、鶏肉にいたっては11年目で関税が撤廃されることになった。国の分析では「影響は限定的、関税削減・撤廃による輸入相手国の変化などから、長期的には国産価格の下落も懸念」とされているが、今後とも注視していく必要がある。

種鶏孵卵業界としては、鶏卵・鶏肉の大幅な需要増が見込めない中であって飼料高等のコストアップ要因に加え、人材難の問題等を抱えており、経営環境は非常に厳しいが、引き続き経営体質の強化を図り鶏卵・鶏肉生産のための素ひなを安定的に供給するため、清浄で健康な素ひなの生産に努めてきた。

平成27年度に実施した各事業の実施状況は次のとおり。

## I 公益目的事業

### 1 種鶏導入調査事業（自主財源）

#### (1) レイヤー素ひな計画生産検討会・レイヤー孵卵部会・ひな育成部会

年度中に2回（平成27年7月9日（木）、平成28年2月18日（木））、検討会を開催して、レイヤーの種鶏導入実績及び種鶏導入計画を基に「平成27年及び平成28年の素ひな生産見込み等」について検討を行い、レイヤー素ひなの生産見込み羽数を公表した。

##### ○ 種鶏導入実績（平成27年1月～12月）

1, 126千羽（国内産種鶏1, 034千羽、輸入種鶏92千羽）  
（対前年比101%）

#### (2) ブロイラー素ひな計画生産検討会・ブロイラー孵卵部会

年度中に2回（平成27年7月8日（水）、平成28年2月18日（木））、検討会を開催して、ブロイラーの種鶏導入実績及び種鶏導入計画を基に「平成27年及び平成28年の素ひな生産見込み等」について検討を行い、ブロイラー素ひなの生産見込み羽数を公表した。

##### ○ 種鶏導入実績（全国）（平成27年1月～12月）

5, 106千羽（国内産種鶏4, 980千羽、輸入種鶏126千羽）  
（対前年比103%）

### 2 鶏ひなふ化羽数調査事業（孵化場経営改善推進事業）（JRA・自主財源）

#### (1) 鶏ひなふ化羽数データ収集調査

毎月全国のふ卵場（99か所、うちレイヤー30ふ卵場、ブロイラー69ふ卵場）を対象に実施。レイヤーについては採卵用めすの素ひな出荷・え付け羽数、ブロイラーについては、ブロイラー用素ひなの出荷・え付け羽数について都道府県別え付け羽数を調査。

#### (2) 鶏ひなふ化羽数データの公表

調査結果は、毎月概要としてホームページに公表するとともに、調査協力ふ卵場に情報提供した。併せて、年次ごとに年報として取りまとめ公表。

#### (3) 素ひな出荷・え付け羽数実績（全国）（平成27年1月～12月）

○ 採卵用めすえ付け羽数：103, 753千羽（対前年比101.5%）

○ ブロイラー用え付け羽数：711, 255千羽（対前年比102.4%）



### 3 鶏卵・鶏肉の消費促進事業（自主財源）

#### （1）鳥インフルエンザ対策・鶏卵消費促進事業（（一社）日本養鶏協会）

（一社）日本養鶏協会が実施する「国産鶏卵に関する普及啓発事業」について  
レイヤー会員からの拠出金（組織強化費から充当）を負担金として拠出し協力。

主な事業：「いいたまごの日」

#### （2）全国鶏肉消費促進協議会に対して協力負担金を拠出し協力。

全国鶏肉消費促進協議会（事務局：（一社）日本食鳥協会）

主な事業：国産チキン祭りへの後援及び助成

構成団体：（協）日本飼料工業会、全国農業協同組合連合会、  
（一社）日本養鶏協会、（一社）日本種鶏孵卵協会、  
（一社）日本食鳥協会

### 4 良質種鶏安定供給システム構築事業（JRA助成事業）

#### （1）良質種鶏安定供給システム構築事業 事業推進委員会

##### ① 委員構成

中村 政幸：（一財）生物科学安全研究所 参与

山口 成夫：（公社）畜産技術協会 参与

山本 満祥：（株）山本養鶏孵化場 代表取締役社長

渡邊 周治：（株）ゲン・コーポレーション 代表取締役社長

##### ② 事業推進委員会の開催

###### i 第1回事業推進委員会

開催期日：平成27年6月25日（木）

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

- 1) 種鶏・ふ卵場における消毒等衛生管理状況に関する現地調査（案）
- 2) ふ卵場内の細菌汚染状況等調査案（平成27年度案）
- 3) 平成27年度事業実施スケジュール（案）
- 4) その他

###### ii 第2回事業推進委員会

開催期日：平成28年3月29日（火）

良質種鶏安定供給システム構築事業の達成目標等について、自己評価結果の検証を実施

(2) 良質種鶏安定供給システム構築事業 専門委員会

① 委員構成

中村 政幸：(一財) 生物科学安全研究所 参与

山口 成夫：(公社) 畜産技術協会 参与

筒井真理子：(独) 家畜改良センター岡崎牧場 次長

塩谷 暁夫：エンヤ家畜診療所 獣医師

山本 満祥：(株)山本養鶏孵化場 代表取締役社長

渡邊 周治：(株)ゲン・コーポレーション 代表取締役社長

② 専門委員会の開催

i 第1回専門委員会

開催期日：平成27年10月8日(木)

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

- 1) 平成27年度良質種鶏安定供給システム構築事業の進捗状況
- 2) 平成27年度良質種鶏安定供給システム構築事業のとりまとめ
- 3) その他

ii 第2回専門委員会

開催期日：平成27年12月3日(木)

協議事項：

- 1) 「良質ヒナ生産技術に関する現状と対策(案)」の検討
- 3) その他

(3) 良質種鶏安定供給システム構築事業 現地調査の実施

4ヶ所の種鶏孵卵場(レイヤー2ヶ所、ブロイラー2ヶ所)について、現地調査を実施し、細菌検査のためのサンプリングを実施。

5 孵化場経営改善推進事業(JRA助成事業)(平成27年度新規：3カ年事業)

(1) 孵化場経営改善推進事業 事業推進委員会

① 委員構成

山本 満祥：(株)山本養鶏孵化場 代表取締役社長

渡邊 周治：(株)ゲン・コーポレーション 代表取締役社長

大島 照明：(一社) 日本食鳥協会 専務理事

山上 善久：(一社) 日本養鶏協会 技術主幹

② 事業推進委員会の開催

i 第1回事業推進委員会

開催期日：平成27年7月7日（火）

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

- 1) 孵化場経営改善推進事業の概要及び仕組み
- 2) 平成27年度孵化場経営改善推進事業の実施計画

ii 第2回事業推進委員会

開催期日：平成28年3月30日（水）

協議事項：

- 1) 平成27年度孵化場経営改善推進事業の進捗状況
- 2) 平成28年度孵化場経営改善推進事業の実施計画

(2) 孵化場経営改善推進事業 ひな羽数予測システム改善事業  
専門委員会

① 委員構成

山本 満祥：(株)山本養鶏孵化場 代表取締役社長

山下 眞：(株)一宮家禽孵卵場 代表取締役社長

日比野義人：(株)後藤孵卵場 代表取締役社長

森 泰三：(株)森孵卵場 代表取締役

都丸 高志：(株)トマル 代表取締役社長

渡邊 周治：(株)ゲン・コーポレーション 代表取締役社長

大島 照明：(一社)日本食鳥協会 専務理事)

山上 善久：(一社)日本養鶏協会 技術主幹)

② ひな羽数予測システム改善事業専門委員会の開催

i 第1回専門委員会

開催期日：平成27年7月21日（火）

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

- 1) 孵化場経営改善推進事業の概要及び仕組み
- 2) 平成27年度孵化場経営改善推進事業の実施計画
- 3) その他



ii 第2回専門委員会

開催期日：平成28年3月31日（木）

協議事項：

- 1) 平成27年度孵化場経営改善推進事業の進捗状況
- 2) 平成28年度孵化場経営改善推進事業の実施計画
- 3) その他

(3) 孵化場経営改善推進事業 アンケート調査の実施

全国の種鶏ふ卵場（100か所）を対象に実施。

II 種鶏孵卵経営対策事業（自主財源事業）

1 種鶏・ふ卵経営セミナー事業

テーマ：種鶏場及びふ卵場を巡る情勢

開催期日：平成28年2月18日（木）

場所：馬事畜産会館 会議室

参加者：49名

演題及び講師

○ 畜産クラスターについて

飯野 昌朗（農林水産省生産局畜産部畜産企画課課長補佐（推進班））

○ 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針の改正

永田 知史（農林水産省消費・安全局動物衛生課家畜衛生専門官）

○ 良質ヒナ生産技術に関する現状と対策

良質種鶏安定供給システム構築事業事務局

2 地域協議会等組織強化対策事業

(1) 地域協議会

① 東日本レイヤー孵卵協議会

i 通常総会

開催期日：平成27年9月1日（火）

場所：馬事畜産会館

議題：(1) 平成26年度事業報告及び決算報告

(2) 平成27年度事業計画及び予算案

(3) 情勢報告・意見交換

(4) 出席会員：7社、7名（うち事務局1名）

ii 現地協議会

開催期日：平成27年11月25日（水）

場 所：伊香保温泉「福一」（群馬県渋川市伊香保町伊香保甲8）

議 題：(1) 地域情勢報告・意見交換

(2) 協会事業

(3) 鳥インフルエンザ関連

（参加者）7名（うち事務局1名）

③ 中部レイヤー孵卵協議会

i 総会

開催期日：平成27年4月17日（金）

会 場：東横イン岐阜 会議室（岐阜市元町5-9）

議 題：(1) 平成26年度事業報告及び収支決算承認

(2) 平成27年度事業計画及び収支予算承認

(3) 役員改選に関する件

参加者：6名（6社）（うち、協会より山本満祥会長）。

④ 九州・四国レイヤー孵卵協議会

i 総会

開催期日：平成27年6月23日（火）

会 場：コーワパーク由布院倶楽部（由布市湯布院町川上2952-1）

議 題：(1) 平成26年度事業報告及び収支決算に関する件

(2) 平成27年度事業計画及び収支予算案承認の件

(3) 情報交換

参加会員：10名（8社）（うち事務局1名）

⑤ 東日本ブロイラー孵卵協議会

i 通常総会

開催期日：平成27年8月6日（木）

場 所：馬事畜産会館

出席会員：会員7社、委任状7社 計14社（会員数21）

参加者10名（事務局含む）

議 題：(1) 平成26年度事業報告及び決算報告

(2) 平成27年度事業計画及び予算案

(3) 情勢報告・意見交換

ii 現地協議会

開催期日：平成27年11月4日（水）

場 所：月岡温泉ホテル泉慶（新潟県新発田市月岡温泉453）

議 題：(1) 地域情勢報告・意見交換

(2) 協会事業

(3) 鳥インフルエンザ関連

（参加者）12名（うち事務局1名）

⑥ 西日本ブロイラー孵卵協議会

i 総会

開催期日：平成27年8月20日（木）

場 所：ピュアリティまきび（岡山県岡山市北区下石井2-6-41）

参加者：24名（12社、山本会長他2名を含む）

議 題：(1) 事業報告及び決算承認の件

(2) 中央情勢報告

(2) 各部会の開催状況

① 原種鶏部会

i 総会

開催日：平成27年7月22日（水）

場 所：かんすい苑 覚楽（栃木県那須塩原市黒磯402-2）

議 題：(1) 平成26年度事業報告及び決算報告について

(2) 平成27年度事業計画及び予算(案)について

(3) 海外におけるAI発生とひなの輸入検疫問題について

出席者：12名（原種鶏部会は7社10名）

ゲスト参加：山本満祥（日本種鶏孵卵協会会長）

事務局：米田勝紀（日本種鶏孵卵協会常務理事）

ii 原種鶏部会「動物衛生課及び動物検疫所との情報交換会」

開催日：平成27年9月2日（水）13：30～17：15

場 所：動物検疫所会議室

訪問者：森永 浩二（原種鶏部会部会長：(株)日本チャンキー）

後藤 直樹（原種鶏部会副部会長：(株)アイエスエージャパン）

渡邊 周治（(株)ゲン・コーポレーション）

山本 剛史（(株)ヤマモト）



森腰 俊亨 (株)松阪ファーム  
奥山 海平 (東西産業貿易(株))  
広瀬 毅 (株)ゲン・コーポレーション)  
小久保英明 (株)日本チャンキー)  
古賀日香理 (株)日本チャンキー)  
米田 勝紀 ((一社)日本種鶏孵卵協会)

○ 農林水産省側

川田 良浩 (消費・安全局動物衛生課 課長補佐)  
宮田 透 (生産局畜産部畜産振興課 課長補佐)

○ 動物検疫所側

小倉 弘明 (動物検疫所長)  
瀬戸 秀佳 (調整指導官)  
鈴木 一弘 (検疫部長)  
田中 寿一 (精密検査部長)  
田上 勝則 (動物検疫課長)  
新居 朋昭 (企画管理部企画調整課主任)

- 協議事項：(1) 海外における地域主義の導入に向けての動き  
(2) 輸入解禁についての進捗状況  
(3) 初生ひなの輸入検疫上の諸問題について  
(4) 動物検疫所視察

② 国産鶏普及協議会

i 通常総会

開催期日：平成27年7月2日(木)

場 所：馬事畜産会館 会議室 出席会員：7社

参加者：22名

(会員7名、来賓6名、優良農家1名、報道6社、事務局2名)

議 題：\*平成26年度事業報告及び収支決算報告

\*平成27年度事業計画及び予算案

ii 記念事業

開催期日：平成27年7月2日(木)

場 所：馬事畜産会館 会議室

◎ 国産鶏飼養優良経営農家表彰事業：

採卵鶏部門： かわなべ鶏卵農場 代表 川鍋 重美  
(東京都青梅市小曾木2丁目271)

◎ 意見交換会

\* 「家畜改良センター岡崎牧場の概要等」

講 師：山本 洋一 ((独) 家畜改良センター 岡崎牧場長)

\* 「国産鶏種」で売り込みます！！

講 師：松本 博紀 ((独) 家畜改良センター 兵庫牧場長)

iii 現地研修会 (平成27年9月17日 (木) ~9月18日 (金))

1) 平成27年9月17日 (木)

場所：香川県庁 (香川県高松市番町4丁目1-10)

出席者：16名 (会員7名、来賓4名、マスコミ4名、事務局1名)

演題&講師：

「地域資源を活用したブランド畜水産物の開発について」

香川県農政水産物畜産課

「地域産業連携による鶏糞処理技術の確立について」

(有)新延孵化場 代表取締役社長 新延 修

「卵直販店に関する現状、課題等について」

(独) 家畜改良センター岡崎牧場長 山本 洋一

「兵庫牧場の「国産鶏種」の作出と今後の改良方向」

(独) 家畜改良センター兵庫牧場長 池内 豊

2) 平成27年9月18日 (金)

場所：香川県畜産試験場 (香川県木田郡三木町下高田2706)

演題：讃岐コーチンについて

iv 平成27年度鶏改良推進中央協議会 ((独) 家畜改良センター主催)

開催期日：平成27年10月1日 (木)

場 所：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター中会議室

出席会員：8名 参加者：90名

議 題：\* 中央情勢報告

\* 鶏改良増殖に関する取り組み状況

\* 地鶏等の生産振興のための組み合わせ検定について等

v 地鶏・国産鶏種普及促進ネットワーク会議

開催期日：平成27年10月2日（金）

場 所：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター中会議室

出席会員：8名 参加者：86名

議 題：\*肉用鶏部会

アンケート報告、事例紹介、意見交換

\*卵用鶏部会

卵直販店に関する現状、課題等について

「岡崎おうはん」トレーサビリティの取り組み

岡崎牧場の新たな業務展開等

3 平成27年度定時総会・理事会等の開催概要

(1) 第40回定時総会

開催日時：平成27年5月12日（火）

場 所：東京・お茶の水 ホテルジュラク 孔雀の間

出席会員：総会員82名中、出席会員29名、委任状6名、書面議決者25名、計60名

議 題：

第1号報告事項：平成26年度事業報告

第2号決議事項：平成26年度貸借対照表及び正味財産増減計算書

第3号報告事項：平成27年度事業計画及び平成26年度正味財産増減予算書

第4号決議事項：平成27年度会費の額及び徴収方法

第5号決議事項：平成27年度借入金最高限度額

第6号決議事項：理事及び監事の報酬の額及び支給基準

第7号決議事項：役員補欠選任；新理事：山形 哲也

(2) (一社) 日本種鶏孵卵協会創立40周年記念

○ 式典

開催日時：平成27年5月12日（火）15:00～15:30

場 所：東京・お茶の水 ホテルジュラク 孔雀の間

○ 協会功労者表彰：村田良樹、山下眞、山形哲也、谷藤広志、小松伸好、  
篠崎久、板東正武、日比野義人、林正司

○ 記念講演 15:30～16:30

演 題：OIEを巡る情勢

講 師：釘田 博文（OIEアジア太平洋地域事務所・地域代表）

○ 祝賀会 17:00～18:30



(3) 協会運営事項

① 平成26年度（一社）日本種鶏孵卵協会事業・会計監査

開催日：平成27年4月21日（火）

場 所：（一社）日本種鶏孵卵協会 事務局

監 事：都丸 高志 山上 祐一郎

会 長：山本 満祥

監査事項：\* 平成26年度事業報告

\* 平成26年度収支決算及び貸借対照表、正味財産増減計算書、  
財産目録

\* 監査講評

② 理事会（理事・監事）

i 第1回理事会

開催日時：平成27年4月21日（火）

場 所：馬事畜産会館 会議室

出席理事・監事：理事14名（総理事14名） 監事2名

協議事項：

○第40回定時総会の招集日時と場所について

○第40回定時総会提出議案について

第1号報告事項：平成26年度事業報告

第2号決議事項：平成26年度貸借対照表及び正味財産増減計算書

第3号報告事項：平成27年度事業計画及び平成26年度正味財産増減予算書

第4号決議事項：平成27年度会費の額及び徴収方法に関する件

第5号決議事項：平成27年度借入金最高限度額に関する件

第6号決議事項：理事及び監事の報酬の額及び支給基準に関する件

第7号決議事項：役員の新補欠選任に関する件

○創立40周年記念式典について

○JRA畜産振興事業について

○会員の異動状況について

○第2回役員会及び平成27年度第1回素ひな計画生産検討会の日程について

ii 第2回理事会

開催日時：平成27年7月9日（木）

場 所：馬事畜産会館 会議室

出席理事・監事：理事14名、監事2名出席（総理事15名、監事2名）

協議事項：

- 平成27年度事業の推進について
- 「良質種鶏安定供給システム構築事業」について
- 「孵化場経営改善推進事業」について

iii 第3回理事会

開催日時：平成28年2月17日（水）

場 所：馬事畜産会館 会議室

出席理事・監事：理事15名、監事1名出席（総理事15名、監事2名）

協議事項：

- 第41回定時総会提出議案のうち
  - ・平成27年度事業報告及び決算見込みについて
  - ・平成28年度事業計画及び予算（案）について
- JRA助成事業の新規要求（案）について

③ 正副会長会議

i 第1回正副会長会議

開催日時：平成27年4月21日（火）

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：第1回理事会審議事項について

ii 第2回正副会長会議

開催日時：平成27年7月9日（木）

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：理事会審議事項について

ii 第3回正副会長会議

開催日時：平成28年2月17日（水）

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：理事会審議事項について